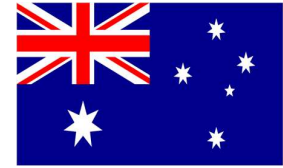


Southern Cross



2021 No. 4

7月1日発行

The Japanese School in Perth
パース日本人学校



Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: toiwase@jsp.wa.edu.au



「海を渡る蝶(アサギマダラ)」



パース日本人学校

校長 中丸 俊晴

先週の木曜日の全校集会では、中学生がロボットを作成し、プログラム通りに動かしたり、リズム音楽を発表したりしてくれました。人間の創造力は無限です。

でも、自然界にはまだまだ、解明できていない謎がたくさんあります。そこで、タイトルや写真にある、不思議な蝶(アサギマダラ)について話しました。

実は、日本では、夏休みに入ると林間学校にでかけます。毎年、長野県の立科林間学校に行っていましたが、車山山頂からの下りの草原で、よくアサギマダラを見ることができました。このアサギマダラ、謎も多いのですが、実はすごい蝶なのです。

どんな蝶？

- ・アサギマダラは、旅する蝶として有名で、春から夏にかけて北に移動、秋になると南に下ります。(25度前後の気候帯を探して移動しています。)
- ・例として、春から夏、台湾から日本、秋以降、日本から台湾への移動例があります。
- ・上の例では、春から夏にかけて、日本の長野県に飛来し、産卵後、成虫は生涯を終えます。その後、孵化し、成虫になった蝶が(いわば第2世代)が、秋に台湾方面に南下します。南下した成虫は、台湾で卵を産み、孵化し成虫になった蝶(第三世代)が、再び日本に飛来します。
- ・その移動距離が長く、2000kmも移動し、定期的に国境と海を渡ります。
- ・台湾に渡るには、海の上を1000km休まずに飛び続けることとなります。
- ・2日間で、740km海上移動した例もあります。

どうやって飛んでいるのか？

- ・時期、空間、植物の状態に柔軟に対応して飛んでいて、台風を活用したり、雨が降る前に一気に移動したり気象を読む能力に優れています。
- ・飛ぶときは、集団で飛びます。

飛んでいる時の食べ物？

- ・秋に渡りを始めますが、それまでひたすらに蜜をすい、栄養補給し、腹部にたくさんの脂肪を蓄えます。

なぜ、鳥に食べられないのか？

この理由がまたすごいのです。

長野県の森の散歩をしました。その森に、ガガイモ科のキジョランという草が生えています。アサギマダラの成虫は、このキジョランの葉に卵を産み付けます。キジョランには、毒が有り、通常の幼虫はこの葉を食べません。アサギマダラの孵化した幼虫は、この葉を食べ続け、体内にこの毒を貯めておきます。この幼虫を食べた鳥は、この毒で嘔吐します。猛毒ではないので、人間には害がありませんが、鳥は、この嘔吐をきらい二度と食べません。しかもこの毒は、成虫になっても残っているそうです。

さて、冬休み、2週間程ですが、学校では体験できない、オーストラリアパースでの自然界の大きな発見や感動を体験してください。

2学期も、自由参観週間、アスレチックカーニバルなどがあります。引き続き多くの皆様のご来校をお待ちしております。

連絡

○学校の緊急携帯電話番号について

学校では、緊急連絡用に携帯電話を設置しました。番号は、0431-895-612です。

欠席連絡等の通常の連絡については、これまで通りの学校の電話番号をお使ください。

この携帯電話の活用については、以下のようにさせていただきたいと思ひます。

- ・災害時や不審者侵入等の緊急事態が発生した場合の保護者へのメッセージ送信
- ・校外学習の場合の緊急連絡用

尚、保護者の方から、この番号へ直接電話やメッセージを送信することはご遠慮ください。

この携帯電話からの返信等は基本的には行いません。番号のご登録をよろしくお願ひします。